第 19 期 決 算 公 告

広島県広島市南区皆実町二丁目7番1号
瀬戸内パイプライン株式会社
代表取締役 谷村 武志

貸 借 対 照 表

(2022年3月31日 現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
固 定 資 産	4,937,532	固 定 負 債	2,259,679
有 形 固 定 資 産	4,936,539	長 期 借 入 金	119,652
建 物	104,213	関 係 会 社 長 期 借 入 金	2,012,097
建 物 付 属 設 備	3,111	資 産 除 去 債 務	122,068
構 築 物	21,391	繰 延 税 金 負 債	5,862
機 械 装 置	4,070,382	流 動 負 債	565,759
工 具 器 具 備 品	1,529	1 年 以 内 返 済 予 定 の 長 期 借 入 金	59,796
建 設 仮 勘 定	735,910	1 年 以 内 返 済 予 定 の 関 係 会 社 長 期 借 入 金	370,044
無 形 固 定 資 産	716	買 掛 金	39,990
電 話 加 入 権	36	関 係 会 社 買 掛 金	1,769
ソ フ ト ウ ェ ア	680	未 払 金	-
投 資 そ の 他 の 資 産	276	未 払 法 人 税 等	61,794
長 期 前 払 費 用	156	未 払 費 用	26,100
そ の 他 投 資	120	関 係 会 社 短 期 借 入 金	-
流 動 資 産	165,903	関 係 会 社 短 期 債 務	4,825
現 金 及 び 預 金	500	預 り 金	1,440
売 掛 金	15,323	負 債 合 計	2,825,439
関 係 会 社 売 掛 金	110,342	純 資 産 の 部	
未 収 入 金	4,713	株 主 資 本	2,277,996
原 料	6,206	資 本 金	150,000
貯 蔵 品	6,868	資 本 剰 余 金	150,000
前 払 費 用	1,265	資 本 準 備 金	150,000
関 係 会 社 短 期 貸 付 金	20,684	利 益 剰 余 金	1,977,996
そ の 他 流 動 資 産	-	そ の 他 利 益 剰 余 金	1,977,996
		繰 越 利 益 剰 余 金	1,977,996
		純 資 産 合 計	2,277,996
資 産 合 計	5,103,436	負 債 及 び 純 資 産 合 計	5,103,436

個別注記表

〔 2021年4月 1日から
2022年3月31日まで 〕

I. 重要な会計方針に関する注記

1. 資産の評価基準および評価方法

棚卸資産の評価基準および評価方法

移動平均法による原価法

(貸借対照表価格は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

・建物、建物付属設備、構築物、機械装置	定額法
・工具器具備品	定率法

(2) 無形固定資産

法人税法の規定による定額法を採用しております。ただし、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しています。

3. 収益および費用の計上基準

商品又は製品の販売に係る収益は、主に熱量調整・託送供給等の業務受託による販売であり、顧客との販売契約に基づいて商品又は製品を引き渡す履行義務を負っております。当該履行義務は、商品又は製品を引き渡す一時点において、顧客が当該商品又は製品に対する支配を獲得して充足されると判断し、引渡時点で収益を認識しています。

II. 会計方針の変更に関する注記

1. 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、当事業年度において、計算書類に与える影響はありません。

2. 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第 30 号 2019 年 7 月 4 日)等を当事業年度の期首から適用し、当該会計基準第 19 項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、当事業年度において、計算書類に与える影響はありません。

Ⅲ. 当期純損益金額

1. 当期純利益の金額 293,386 千円

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。